

特殊な工具や難しい技術は不要!

表面実装部品の
ラクラクはんだ付け術

北神 雄太

ご購入はこちら

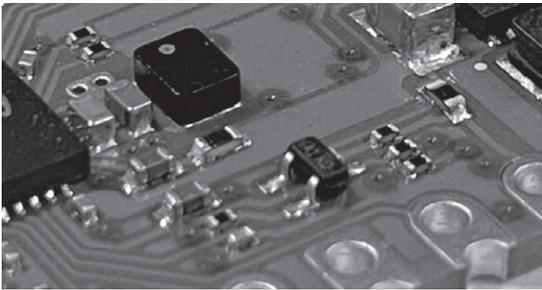


写真1 今回やること…表面実装部品を楽にはんだ付けするテクニックを紹介する

最近の電子回路基板では、写真1に示すような表面実装タイプの部品がよく使われています。部品からリード線の伸びているDIP (Dual-in-line package) 部品と比べると、はんだ付けが難しいので、試作時には使用を避ける場合があると思います。

しかし、今どきの電子部品は表面実装タイプが一般的であり、DIPタイプのパッケージが用意されていないケースもあります。本稿では、表面実装部品に苦手意識がある人にもお勧めできる、はんだ付けのテクニックをいくつか紹介します。(編集部)

本稿では、試作や電子工作の際に、特殊な工具や難しい技術がなくても実践できる、表面実装部品のはんだ付け方法を紹介します。ただし、今回紹介する方法は手軽に実践できますが、部品を壊す可能性もあるので、必ずしも最適とは言えないかもしれません。実際に試す場合は、自己責任でお願い致します。

テクニック①…
チップ部品のはんだ付け

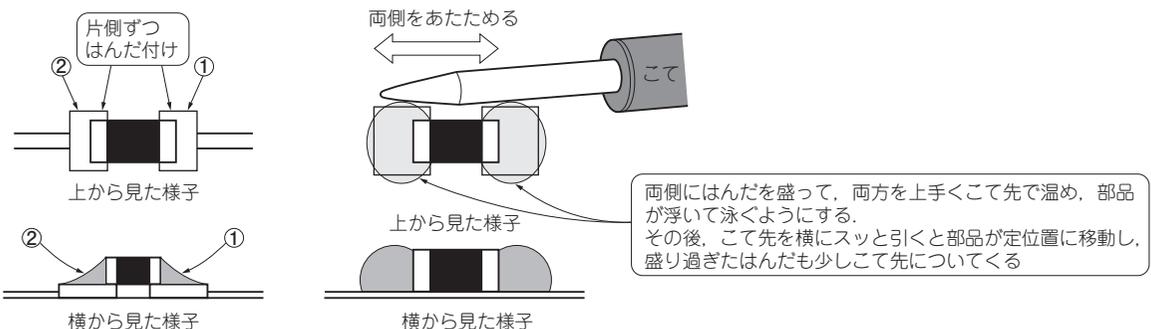
初に、抵抗とコンデンサなどによく使われる1608 (1.6 × 0.8mm) のチップ部品をはんだ付けする方法を紹介します。

1608サイズのチップ部品は、図1(a)のように部品をパッドの上に置き、片側ずつはんだ付けする方法が一般的です。しかし、この方法をうまくやるには、はんだこてのこて先を変えたり、フラックスを塗布したりなど、いろいろな技を使う必要があります。

ここでは、不器用な筆者でも実践できる方法として、両側にはんだを乗せる方法を紹介します。

● はんだ付けの手順

図1(b)のように、はんだこてにはんだを盛って、チップ部品の両側パッドにはんだが乗るよう、こて先

(a) 一般的な方法…片側ずつ
はんだ付けする方法

(b) 楽にはんだ付けできるテクニック…両側にはんだを乗せる方法

図1 テクニック①…抵抗やコンデンサなどチップ部品のはんだ付け
1608 (1.6 × 0.8mm) サイズの部品のはんだ付け